

住民自治協議会だより 第4号

発行：小田切地区住民自治協議会 自治協だより編集委員会

就任あいさつ

「心をひとつに一丸となって頑張りましょう」

小田切地区住民自治協議会

会長 酒井 昌之

皆様ご承知のとおり、小田切地区住民自治協議会は二年目を迎えました。

一年目は組織づくり。二年目はいよいよ本格的に活動開始です。「都市内分権」による「住民自治」。言葉は易しいのですが、事は重大です。「小田切地区のことは、小田切地区住民で解決しなさい」ということなのです。

今ここで申しあげるまでもなく小田切は長野市のなかで最も大きなハンディを背負っている地域であると思います。このなかで、「小田切に住んでよかった」「小田切で生まれてよかった」と言ってもらえるためには住民のニーズに基づいた活動をしなければなりません。今年度の活動計画はすでに決まっておりますので、どれだけ実行できるかが私たち「役員」に課せられた任務であると思います。

そのためには先ず体を動かし汗をかくことだと思います。ワールドカップ南アフリカ大会で、「サムライジャパン」は日本人に大きな勇気と感動を与えてくれました。それは全員心をひとつにして一丸となって走り続けたからにほかなりません。私たち役員も一丸となって頑張る所存です。皆様方のご支援、ご協力を心からお願いしごあいさつに代えさせていただきます。

平成22年度 小田切地区住民自治協議会総会議事

- (1) 第1号議案 平成21年度事業報告について
- (2) 第2号議案 平成21年度収支決算報告について
(会計監査報告)
- (3) 第3号議案 小田切地区住民自治協議会会則改正(案)について
- (4) 第4号議案 平成22年度事業計画(案)について
- (5) 第5号議案 平成22年度収支予算(案)について
<詳細は3面を御覧下さい>
- (6) 第6号議案 役員改選について



平成22年度役員等 (敬称略)

| 役 職 名 | 氏 名 |
|--------------|---------|
| 会 長 | 酒 井 昌 之 |
| 副 会 長 | 松 本 良 一 |
| | 宮 尾 正 明 |
| | 海 沼 一 夫 |
| 会 計 | 岡 澤 芳 文 |
| 総務・安全防災部会長 | 酒 井 昌 之 |
| 総務・安全防災副部会長 | 奥 原 保 男 |
| | 山 上 健 一 |
| 福祉・健康部会長 | 松 本 良 一 |
| 福祉・健康副部会長 | 宮 尾 忠 二 |
| 環境・地域活性化部会長 | 宮 尾 正 明 |
| 環境・地域活性化副部会長 | 竹 内 重 雄 |
| 教育・文化部会長 | 海 沼 一 夫 |
| 教育・文化副部会長 | 宮 岡 秀 行 |
| 監 事 | 宮 尾 忠 二 |
| 監 事 | 宮 澤 弘 |

平成22年5月25日選任

ひ と 言

注目の参院選も終われば衆参「ねじれ」現象。その原因がサッカーのワールドカップの最中とは言え「オウンゴール」(自分のチームのゴールにボールを蹴り込むこと。イコール首相の消費税発言)。与党も強引な国会運営はできない。つまるところ政策を十分に審議しなければならないことになる。国民はその推移をじっくり見定めて次の選挙の参考にする「審判員」としての役目を負ったことになる。

22年度各部会のけいかく

ここではそれぞれの部会長さんより主な事業についてのお知らせです。

「やまざと支援交付金事業」 の実施など行います。

総務・安全防災部会長

酒井 昌之

総務・安全防災部会は次の6点について取り組みます。

- ① 定期的区長会の開催。
- ② 広報紙「住民自治協だより」を年2回程度発行します。
- ③ 防災・安全対策の推進。消防局や消防分団と協力し、自主防災活動を推進し、住民のいのちとくらしを守ります。
- ④ やまざと支援交付金事業の実施。昨年に続き総額60万円の予算が認められています。有効に活用してまいります。
- ⑤ 期日前投票のためのタクシー事業の実施。投票所減少にともなう措置です。ご活用ください。
- ⑥ 小田切園後活用の検討。同園は24年3月で閉鎖されます。後活用について皆様のお知恵をお借りしたいと思っております。ご協力をお願いします。

福祉・健康部会の方針

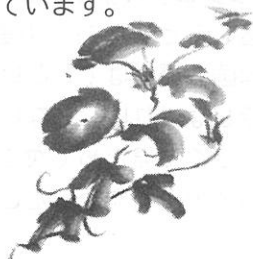
福祉・健康部会長

松本 良一

今年度、小田切地区社会福祉協議会が解散し、福祉委員会が発足しました。昨年度より小田切地区地域福祉活動計画策定委員会を設立し、今後の事業展開を、地区民アンケートを基に検討を重ねて行きます。

今年度は、一人暮らし老人の集いを始め、福祉委員の研修会及び、福祉自動車運転手の研修会、喜寿のお祝い等を計画しております。また、地区住民の健康保健活動としまして、保健補導員会を中心に、地域住民の健康管理の推進をしていく予定です。

民生児童委員は、今年の11月末をもって任期満了のため改選となりますので、民生委員推薦準備会を設置し、改選に向けて準備を進めています。



事業計画の実践

環境・地域活性化部会長

宮尾 正明

1. 環境美化活動の推進
春5月、秋10月の2回、各区の予定や実情に合わせて実施日を設定し、区内の道路や公共場所の空缶・ゴミ拾い、草刈等一斉清掃を行う。また不法投棄に関する情報提供を随時行い、美しい地域づくりに努める。
2. 農作物の有害鳥獣対策
餌場になりやすい遊休荒廃地を出さないことが、何より大事ですが、被害が多いところは、電気柵やネット柵で囲う等工夫する。
電気柵、くくり罠、箱罠等の斡旋
3. 遊休農地の活用対策
あくなしワラビ苗（根茎）の圃場を移転し面積も2倍になりました。2年後を目途に安価で販売できるよう管理する。
4. 観光施設の整備
小田切八景のほか地域に存在する、文化的資源（史跡や行事）等併せてPRする。

小田切公民館とともに

教育・文化部会長

海沼 一夫

5月25日の住民自治協議会総会において、教育・文化部会の今年度事業は、次の様に計画が決められました。

- (1) 各種世代間交流事業の推進
- (2) 青少年子ども育成事業の推進
- (3) 人権啓発活動の推進
- (4) 市立公民館・地域公民館の連携協調の推進
- (5) 地区住民の親睦と健康増進、スポーツ振興の推進
- (6) 歴史民俗資料展示室の充実と活用

六団体から構成される教育・文化部会は、事業内容からも小田切公民館との関わりが深く、協調・協力・連帯しながら、事業の推進に努めてまいります。

過疎化の中で、人々のつながりやふれあいを培う場や楽しく学べる機会を提供し、地域コミュニティを活性化することが、当部会の果たす役割だと考えます。

これらの取り組みを地区の皆様とともに共同で進め、「小田切を元気に！」という自治協の目的につなげて行きたいと思っております。ご協力よろしく申し上げます。

平成22年度小田切地区住民自治協議会予算書

(一般会計)抜粋

(収入) 主なもの

| | |
|--------------|--------------------|
| <いきいき運営交付金> | 2,670千円 |
| <補助金> | |
| ・道路愛護補助金 | 77千円 |
| ・地域福祉推進事業関係 | 997千円 |
| ・福祉自動車補助金 | 300千円 |
| ・わくわく体験補助金 | 140千円 |
| ・自治活動保険料助成金他 | 236千円 |
| <地区負担金> | |
| ・区長会負担金 | 135千円 (300円/戸) |
| ・地域活性化負担金 | 90千円 (200円 //) |
| ・福祉事業負担金 | 450千円 (1,000円 //) |
| ・環美連負担金 | 135千円 (300円 //) |
| ・子ども育成負担金 | 90千円 (200円 //) |
| ・地公連負担金 | 348千円 (均等割・世帯割) |
| <その他> | 352千円 (繰越金・雑入等) |
| 合計 | 6,020千円 |

(支出) 主なもの

| | |
|---|-------------------------|
| <総務・安全防災部会> | |
| ・区長会事業費 | 573千円 |
| ・交通安全推進事業費 | 55千円 |
| ・その他 | 70千円 |
| <福祉・健康部会> | |
| ・地域福祉推進事業費 (市厚生課補助事業) | 859千円 |
| ・福祉委員会事業費 おしゃべりサロン・喜寿祝賀会、団体補助 一人暮らし老人の集い他 | 621千円 |
| ・保健補導員事業費 | 260千円 |
| <環境・地域活性化部会> | |
| ・環美連事業費 | 363千円 |
| ・有害鳥獣対策事業費 (檻購入補助) | 50千円 |
| ・遊休農地活性化対策 (信州里山塾作業手当) | 60千円 |
| <教育・文化部会> | |
| ・人権同促協事業費 | 271千円 |
| ・青少年子ども育成事業費 | 288千円 |
| ・公民館連絡協議会事業費 | 1,031千円 |
| <事務局費> | 551千円 |
| <繰出金> | 812千円 (福祉自動車特別会計に支出) |

| | |
|-------|---------|
| <予備費> | 156千円 |
| 合計 | 6,020千円 |

(福祉自動車特別会計)

(収入)

850千円 (内住自協からの繰入金 812千円)

(支出)

208千円 (事務費関係)

200千円 (車輛管理費)

250千円 (燃料費)

192千円 (予備費)

(やまざと支援交付金事業特別会計)

(収入)

600千円 (やまざと支援交付金)

(支出)

600千円 (報償費)

(内生活道路管理331千円・福祉自動車運
転活動費206千円・信州里山塾関係63千円)

やまざと支援交付金の支援活動例

- 1 通行に支障となる公道の草刈り
- 2 公道の側溝清掃、落葉期に通水の支障となる落ち葉の処理・清掃
- 3 支障木の枝払い、伐採
(降雪期の垂れ下がった枝払い、伐採を含む)
- 4 繁茂するアレチウリの駆除…………… (刈り払い、除草剤散布)
- 5 地域共有建物の雪おろし
- 6 生活(公道)道路の除雪(除雪機による運転業務を含む)
- 7 凍結防止剤の散布
- 8 有害鳥獣の被害防止のための緩衝帯整備
・見通しの悪い樹木の伐採、周辺の草刈り、その後の維持管理
- 9 遊休荒廃農地の草刈り
- 10 旧学校校庭の草刈り (H21は区長会で実施)

やまざと支援交付金で購入できる物品

- 1 草刈り機の替刃 2,000~3,000円程度のもの
- 2 燃料代
- 3 除草剤、鎌・なた、スコップ・スノーダンプ
- 4 軍手
- 5 お茶代

平成22年度部会名簿

総務・安全防災部会

| 代表者名 | 団体名 |
|-------|-----------------------|
| 徳永 国夫 | 深沢区長 |
| 大西 輝男 | 吉窪区長 |
| 宮澤 盛雄 | 下宮野尾区長 |
| 酒井 昌之 | 上宮野尾区長 (区長会副会長) |
| 岡澤 芳文 | 上山田中区長 |
| 長田 正彦 | 下山田中区長 |
| 荒井 邦男 | 国見区長 |
| 奥原 保男 | 中組区長 |
| 小池 高義 | 千木区長 |
| 宮澤 弘 | 地蔵平区長 |
| 小林 孟 | 裾花区長 (区長会会長) |
| 小林 孟 | 小田切地区防犯協会 |
| 池田 保 | 長野市消防団小田切分団 |
| 柳嶋 直子 | 小田切地区白バラ会 |
| 酒井 光男 | 県道小川長野線小田切地区愛護会 |
| 安藤 長一 | 交通安全協会小田切支部 |
| 竹内 重雄 | 飯森新橋線改良促進期成同盟会 |
| 山上 健一 | 県道入山小市線整備促進期成同盟会 |
| 小林 孟 | 小田切地区地域輸送運行協議会 |
| 酒井 昌之 | 小田切農村環境改善センター等利用運営委員会 |

福祉・健康部会

| 代表者名 | 団体名 |
|-------|----------------|
| 松本 良一 | 小田切地区福祉委員会 |
| 上野 修 | 小田切地区民生児童委員協議会 |
| 松本 清子 | 小田切地区保健補導員会 |
| 塩入 幸雄 | 小田切地区老人クラブ |
| 酒井 宣雄 | 遺族会小田切支部 |

環境・地域活性化部会

| 代表者名 | 団体名 |
|-------|-----------------|
| 宮尾 正明 | 小田切地区環境美化連合会 |
| 斉藤 公男 | 小田切地区観光協会 |
| 斉藤 裕 | JAながの小田切農家組合長会 |
| 上野 修 | 小田切地区遊休農地活性化委員会 |
| 松本 勝彦 | 小田切地区有害鳥獣対策委員会 |
| 竹内 重雄 | 小田切地区NOSA I部長会 |

教育・文化部会

| 代表者名 | 団体名 |
|-------|--------------------------------|
| 斉藤 裕 | 小田切地区人権同和教育促進協議会 |
| 宮岡 秀行 | 小田切地区青少年子ども育成協議会 |
| 宮尾 一弥 | 昭風会 |
| 海沼 一夫 | 小田切地区地域公民館連絡協議会 |
| 臼井 和弘 | 巡礼桜保存会 |
| 海沼 一夫 | 小田切歴史民俗資料展示室・小田切小中学校記念館管理運営委員会 |

募金ありがとうございました!!

平成22年度 日赤社資募集 結果報告 緑の募金

| 区名 | 日赤社資(円) | 緑の募金(円) |
|---------|---------|---------|
| 深 沢 | 10,000 | 3,547 |
| 吉 窪 | 28,500 | 3,620 |
| 下 宮 野 尾 | 8,000 | 1,635 |
| 上 宮 野 尾 | 19,000 | 3,080 |
| 上 山 田 中 | 14,500 | 1,200 |
| 下 山 田 中 | 15,000 | 2,080 |
| 国 見 | 42,000 | 3,600 |
| 中 組 | 20,000 | 1,760 |
| 千 木 | 18,000 | 1,620 |
| 地 蔵 平 | 35,300 | 4,660 |
| 裾 花 | 55,630 | 7,760 |
| 合 計 (円) | 265,930 | 34,562 |

平成22年度各種団体運営費各区負担金一覧表

| 区名 | 戸数 | 合計 |
|---------|-----|---------|
| 深 沢 | 43 | 75,250 |
| 吉 窪 | 48 | 84,000 |
| 下 宮 野 尾 | 28 | 49,000 |
| 上 宮 野 尾 | 37 | 64,750 |
| 上 山 田 中 | 15 | 26,250 |
| 下 山 田 中 | 26 | 45,500 |
| 国 見 | 45 | 78,750 |
| 中 組 | 22 | 38,500 |
| 千 木 | 20 | 35,000 |
| 地 蔵 平 | 62 | 108,500 |
| 裾 花 | 98 | 171,500 |
| 合 計 | 444 | 777,000 |

〔負担金内訳〕

区長会負担金300円・福祉事業負担金1,000円

地域活性化負担金200円・観光協会150円

防犯協会50円・歴史民俗資料展示室維持費50円

「信州里山塾」順調に推移

農業委員 酒井 昌之

長野青年会議所が小田切会場をメインに行っている信州里山塾（塩沢豪塾長）は順調に推移している。

小田切地区遊休農地活性化委員会（上野修会長）が指導しているもので、4月小野平でじゃがいもの植付けを行ったのに続き5月23日には田中で田植をした。

6月には小野平で韓国ソウル江北JICの金五男団長のほか2名が唐辛子の植付けを体験。里山塾の塾生とともに案山子づくりも体験した。

7月には絵の下の草刈と間伐材を使用してのマイ箸作り。8月はじゃがいも収穫体験。9月は稲刈りを予定している。

塩沢塾長は「小田切での農業体験は一生の宝となるのではないかと。地区の皆様へ感謝したい」と語っている。



有害鳥獣対策

有害鳥獣対策委員会会長 松本 勝彦

有害鳥獣対策委員会の活動は、会員の皆様の負担金、助成金併せて平成22年度は24万円の予算でくり置の購入、有害鳥獣から農作物を守る為の電気柵設置のお手伝いや狩猟免許取得者の増員の取り組みをしている所です。会員の皆様か柵設置、狩猟免許の取得をする御希望があれば助成する制度になっております。有害



鳥獣を近付けさせない為に遊休荒廃地を出さない、収穫後も餌となる物は放置しない等御協力をお願いします。

ひとり暮らし高齢者のつどい

地域福祉ワーカー 西山一二美

今年も恒例となりました「ひとり暮らし高齢者のつどい」が去る7月8日に裾花川畔のうらおい館にて行なわれました。当日は梅雨最中のはっきりしない天候ではありましたが、該当者の皆様は「楽しみにしていました」と31名がお集り下さいました。到着後は懐しい人との会話を楽しみ、大きいお風呂での入浴で足腰を労り日頃の疲れを癒していただきました。来年もお元気でお会いしたいものです。



「ふれあい号」がゆく

地域たすけあい事業コーディネーター 山口 明子

高齢者や体のご不自由な方が安心してリハビリや通院に利用してもらえるよう、福祉自動車が運行されて7年。当時の役員様方大変なご苦労・ご尽力のお陰で、今や地域住民にとって、なくてはならない大事な足となっています。現在利用会員は60名。運転協力員は12名。皆様のご協力によりほぼ毎日順調に運行しています。今後ますます需要が増えると思いますが、スムーズな運行ができる様運転協力員さんの応募を切にお待ちしております。

「おしゃべりサロン」に参加しましょう

地域福祉ワーカー 西山一二美

今年度は各地区から「おしゃべりサロン」への希望が多くなりました。昨年度が5グループだったところ、今年度は11グループと倍以上に増えました。計画の内容も様々で、手芸や健康体操、園芸教室と盛り沢山です。皆さんが集って楽しい時を過ごして下さるのが一番！だと思います。今年計画のなかった地区の皆さんも、来年は計画して、ご近所で楽しい時を持つようにしてみませんか。

土木の現地調査行なわれる

5月20日、21日長野市の建設部等による小田切地区の現地調査が行なわれました。それぞれの地区で地元役員による説明、要望がなされ実情を訴えました。又5月26日には県道入山小市線、6月18日には県道小川長野線、7月2日には土尻川砂防事務所による現地調査がそれぞれ行なわれました。

「元気なまちづくり市民会議」

平成22年度小田切地区の開催日は9月12日（日）に「小田切農村環境改善センター」で行なわれることになりました。会議形態は議題提案回答方式で従来と同じように、地域の諸問題について地元の意見を述べ市側が回答するというものです。多くの皆さんのご意見やご参加をお願いいたします。

簡易トイレ設置しました。

愛好家のみなさん御利用ください。

上宮野尾地区に設けられた、マウンテンバイクコース入口に、写真のように簡易仮設トイレを置きました。

地域に若い人の元気な姿を誘致することと、有害鳥獣対策の一環になればと願っています。



4月の人事異動

4月1日付で定期の人事異動により次の方々が転出、転入されました。（敬称略）

（転出）

- （支所長） 山田 浩（人権同和政策課長）
- （アドバイザー） 高野明登（教育センター）
- （公民館長） 柴原利彦（古里公民館長）
- （安茂里分署長） 上野久男（松代消防署署長補佐）

（退職）

- （庁務） 鎌田衛一

（転入）

- （支所長） 窪田 武（安茂里支所長）
- （安茂里分署長） 込山忠憲（消防局予防課課長補佐）

（新任）

- （地域活性化推進員） 島田正一
- （公民館長） 柳澤厚史
- （庁務） 酒井宣雄
- （自治協事務） 西山一二美

ただいま策定中

昨年9月から始まりました、地域福祉活動計画は現在策定の真最中です。今年2月に行なったアンケートを分析・検討中です。アンケートの結果は交通問題、有害鳥獣、老後の介護に対する不安等日々の暮らしに直結した悩みや心配を抱えている人が多かったです。「誰もが自分らしく、そして共に支えあえる地域づく



り」を目指して計画策定を進めていきたいと思ひます。

遊休農地活性化

遊休農地活性化委員会会長 上野 修

高齢化の進む中山間地小田切の里にも、耕作放棄地137ヘクタール69%が見られるようになりました。遊休農地活性化委員会では昨年10月に、小野平地域に10アールの農地を借りる事が出来ました。耕作放棄地再利用交付金を活用する中で、原野状態の土地を刈払い肥料を入れ整備をして、蕨の栽培を計画しました。今年4月に雨の中を蕨の根を会員全員の皆さんで植付けをしました。これが活性化の第一歩になればと思ひます。

宴遊会盛大に開催

観光協会会長 齊藤 公男

昭和29年、小田切村が長野市に合併したときに始まった「宴遊会」も歴史を重ねること56年。今年も6月23日、千木区で行われ、関係者32名が参加し盛大に開催されました。

メインは小田切八景にも指定されている「三かまど神社」と栃ノ木にある「戸谷神社」。中世には隆盛を極め、社有林約19町歩もある同社の壮大さに一同びっくり。「三かまど神社」には日本相撲協会からの立札もある。地区の名所旧跡めぐりも2巡した現在、宴遊会も新たな方向付けが迫られている。

編集後記

「自治協だより」第4号をお届けいたします。「情報不足」とご指摘されていますが、今年度の発行は2回です。「情報」を精査して心に届く「だより」にしたいと思ひます。ご協力をお願いいたします。

酒井 昌之